

扱い手様向け 農作業場・ライスセンターの建設について



- JA全農にいがたでは、扱い手様向けの農作業場・ライスセンター(R C)の建設を推進しており、お問い合わせは年々増加しております。
- 今年度は8施設が竣工し、来年度以降につきましても既に複数の扱い手様と協議を進めています。
- JA全農にいがたは「施主代行」という方式で、扱い手様に向けた様々な提案、サポートをおこなっておりますが、本レポートでは施主代行業務の内容や、そのメリットについてご紹介いたします。

(1) 施主代行業務とは？

- 依頼主(施主)が行なう施設建設の発注や工事管理を、JA全農にいがたが施主の立場で支援することです。
- 設計や工事管理など、施設建設には専門的な知識が求められます。
- そのため、JA全農にいがたの担当者が責任を持ってこれら業務を代行いたします。
- 施工業者（建築・機械とも）は、原則、入札により決定します。

■具体的な業務内容(一例)

- 補助事業対応のサポート(適正な建築規模・機械設備能力の試算等)
- 農作業場・ライスセンターの設計、建築確認申請などの申請手続き
- 入札などの業者選定の段取と契約締結
- 工事の施工管理の実施
- 工事代金の精算処理

など

(2) 施主代行業務のメリットとは？

■ メリットその1

→ 経験豊富な技術者の指導により、優れた設計を実現します。

■ メリットその2

→ 多くの工事経験を生かし、競争力が最大限はたらくよう、

積算チェックや指名業者の選定を行い、工事費の低減を図ります。

■ メリットその3

→ JA全農にいがたが施主の立場で工事の管理を行い、

施工不良の防止や施工業者の責任の明確化に努めます。

■ メリットその4

→ JA全農にいがたが発注する建設工事には充実した総合補償制度

があります。

(3) 施主代行業務 利用者の声

■ (農)きたしば 様 (新発田市)

■ 令和2年 ライスセンター建設

①施設を建設して良かったことは？

→ 今まで各個人で作業をしていたが、

施設を集約することにより、他の農作業(たばこ・花き等)に集中でき、効率性が格段に上がりました。



②施主代行業務を利用してみての感想は？

→ 行政・施工業者とのやり取り、入札の執行など、自分たちではできないことを代行していただき、安心して任せられました。

③今後、施設の建設を考えている方へアドバイスはありますか？

→ まずJAに相談することをおすすめします。

◆お問い合わせはJA/JA全農にいがたへ

J A全農にいがたは施設建設を通じて担い手の皆様の支援に取り組んでまいります。

農業関連施設の建設をお考えでしたら、お近くのJAまたはJA全農にいがたへお問い合わせください。